

河川・気象情報の改善に関する検証チーム 第1回検証会議 議事概要

日 時： 令和元年11月14日（木）14：30～15：30

場 所： 中央合同庁舎3号館1F共用会議室

【主な意見等】

（洪水予報の発表・緊急速報メールによる河川情報提供について）

多くの事象が同時に発生すると、人間だけで防災情報の発表などの手続きを処理するのは困難であり、システムの補助が有効と考えられる。気象庁における警報・注意報発表に関わる作成支援システムの導入事例などを共有しながら、検討を進める。

（川の防災情報へのアクセス集中について）

防災情報への今回の一連の災害における、気象庁や他機関へのアクセス数などを参考に、必要な対応を行う。

（大雨特別警報解除後の洪水への注意喚起について）

住民、メディア、自治体へ解除後の注意喚起をより分かりやすく明確に行うことが重要。いつまで警戒が必要なのかなどを含めて伝え方を検討する。

（气象台・整備局の合同記者会見について）

合同で会見を開くメリットを活かしていかなければならない。雨と水位などそれぞれの持っている情報を一貫したストーリーに沿って説明することが重要。

（検証事項と検証の進め方について）

資料3の通り進めることとする。